

2025年12月16日

株式会社博報堂DYホールディングス

**博報堂DYホールディングス、CIO Japanが主催する  
日本初の「CIO 30 Awards Japan 2025」にて「AI賞」を受賞  
—人間中心のAI活用を起点にした全社員のAI専門性向上でマーケティング支援を高度化—**

株式会社博報堂DYホールディングス（本社：東京都港区、代表取締役社長：西山泰央、以下「博報堂DYホールディングス」）は、CIO Japanが主催する日本初の「CIO 30 Awards Japan 2025」において、AIを活用してビジネス価値の向上や業務効率化、IT課題の解決を図った企業を表彰する「AI賞」を受賞しました。

# CIO 30 AWARDS

「CIO 30 Awards」は、30年以上前に米国で始まり、現在では英国、シンガポール、オーストラリア、ドイツ、韓国、インドなど、主要なテクノロジー市場で毎年開催されています。企業ITにおける卓越性を称える名誉ある賞であり、しばしば「テクノロジー業界のオスカー」とも呼ばれています。

急速に進化するデジタルトランスフォーメーション（DX）や生成AIの実装が進む中、企業におけるCIOおよびIT部門の役割はますます戦略的なものとなっています。「CIO 30 Awards Japan 2025」は、こうした変革をリードし、実際にビジネス成果を生み出してきたCIOやITリーダー、そしてその取り組みに関わる企業を表彰する、日本初の本格的なアワードです。

博報堂DYグループでは、2024年4月に社内外でのAIの先端研究や技術開発を推進する「Human-Centered AI Institute (HCAI)」を設立し、“人間中心のAI”によるクリエイティビティの進化・拡張を目指して博報堂DYグループでのAI関連施策を推進しています。

本年8月からは、博報堂DYグループの横断的なAI推進プロジェクト（HCAI Initiative）の一環として、経営層を起点とした全グループ社員のAI活用促進とエイジダイバーシティ推進を目的に「AIメンタリング」制度※の運用を開始しています。その過程で、若手のAI知識と役員の豊富な経験知を相互に融合させることで、世代間の壁を越えた学び合いとその先の成長を促しています。AI活用促進が、役員や社員同士の心の距離を縮め、博報堂DYグループの創造性のさらなる拡大の起点となりました。

また、博報堂DYグループのAIリテラシーの総体的な向上の中で、個人の能力を組織の力として活用する動きや、AIと共に社員同士の創造性を增幅させていく動きなど、単なる業務効率改善に留まらない、AIを新たな創造性の活力とした組織文化の変革・進化を実感しています。

こうした活動が、人間中心のAIを具現化する先進的な取り組みとして、ユースケースの創出やビジネス市場への影響力を評価され、今回の受賞につながりました。

博報堂DYホールディングスでは今後も“人間中心のAI”によるクリエイティビティの進化・拡張を目指すとともに、グループ全社員のAI領域における専門知識獲得・リテラシー向上を基盤に、AIとの共創によるクライアント企業のマーケティング支援の高度化と、新たな価値創造を推進してまいります。

※ 「AIメンタリング」制度：積極的にAIを活用している若手社員の中からAIメンターを選出し、ペアとなる博報堂DYグループの経営層に対し定期的にAIツールのトレーニングやサポートを行う一方、経営層は自身の経験知や知見を若手社員に提供する相互補完型のプログラム。

博報堂DYグループ「AIメンタリング」制度を導入 経営層と若手社員によるペアワークでAI活用を加速化



### ■Human-Centered AI Institute (HCAI)について

博報堂DYグループは、2024年4月、AIによる効率化の研究開発だけでなく、人のクリエイティビティを刺激し創造性を引き出すための「人間中心のアプローチによるAI研究所」として、HCAIを設立しました。これからAIのあるべき姿を探求し、これに基づいた先端技術、応用技術の研究を進めることで、「生活者と社会を支える基盤」の構築を目指します。



HCAI サイト：<https://hcainst.com/>

---

### 【本件に関するお問い合わせ】

株式会社博報堂DYホールディングス グループ広報・IR室 倉品・塚田 [koho.mail@hakuhodo.co.jp](mailto:koho.mail@hakuhodo.co.jp)